



西村証券

チーフストラテジスト
門司総一郎の

ウィークリーレポート

2023年
4月7日
発行

第173回 「大詰めを迎えたウクライナ戦争」

～ウクライナ勝利で株式市場は世界的に上昇へ～

初めに

昨年2月に始まったウクライナ戦争ですが、いよいよ終結が近付いてきたとみられます。今回は、そう考える理由についてお話しします。

悪化するロシア財政

戦争の終結を予想する理由の一つは、ロシアの財政が悪化を続けていることです。経済制裁で原油などの販売収入が減少する一方、戦費で支出は増加の一途をたどっています。このままでは戦費不足で戦争の継続も危ぶまれるといったことにもなりかねません。この財政悪化が、早期の戦争終結を見込む第一の理由です。

NATOによるウクライナへの武器供与拡大

戦争勃発当初、NATO各国はウクライナへの武器供与には慎重でした。これは、ウクライナに協力した場合、後でロシアから嫌がらせを受けることを警戒した国が多かったためだと思います。しかし、戦争開始からここまで、ウクライナは大方の予想を覆す健闘を続けており、ロシアと互角に渡り合っています。これを見た各国は、ウクライナに対する武器供与について、より積極的に応じるようになりました。そうした武器には戦車や戦闘機も含まれます。また、戦争が長期化し、NATO諸国の間でも早期決着を望む声が増えてきたことも影響していると思われます。

ロシアの外交失敗

また、戦争開始からロシア外交は失敗を重ねており、協力する国がないことも、早期の戦争決着を予想する理由です。そもそも、ロシアがウクライナ侵攻を開始した時期は中国の冬季五輪と重なっています。これでは中国の顔に泥を塗るようなものであり、習近平国家主席も驚いたのではないのでしょうか。また、ウクライナは、習主席が目指している広域経済圏・一帯一路の一部となっており、中国としてもそうしたところで戦争が起こることは望ましいことではありません。そのような事情を考えると、ロシアに一方的に肩入れするのは難しいと思われます。

ロシアの戦争継続は極めて困難

このように、ロシアにとって戦争を続ければ続けただけ相手が強くなるような状況に加えて、国内では侵攻賛成派・反対派それぞれによるテロが大都市で発生するなど、ロシア社会は極めて混乱している模様です。こうした内外の状況から、ロシアの戦争継続は極めて困難であり、そう遠くない時期に戦争は終結すると私は予想しています。その場合、株式市場にとっては大きな悪材料が消えることになり、世界的に株価は上昇すると思います。



チーフストラテジスト
門司さんにきいてみよう!



西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES Co., Ltd.
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等はご遠慮ください。